

舞田石造金王五輪塔(上田市)

こんのう

それは右手前方の舞田公園にあるという



標柱・標識には「県宝金王石造五輪塔」とあるが腐食・劣化していて良く読めない



正面にかすかに五輪塔が見えてきた





県宝 金王石造五輪塔

県文化財保護条例第四条の規定により左記の通り指定する。

記

- 一、種 別 有形文化財（石造物）
- 一、名 称 石造五輪塔
- 一、所在地 上田市 舞田字金王一〇〇七番地
- 一、指定年月日 昭和四十九年十一月十四日

この五輪塔は高さ二・二メートル、安山岩で、鎌倉時代の様式を備え、建立当時の面影がそのまま残されており、水輪の四方に「種子」(梵字)が陰刻してある。

旧川西村浦里岡村城主、岡村権左衛門平清氏が源頼信に攻められて落城、権左衛門は舞田山に落ちのびたところ頼信の臣ト部季武トノベキタケに首をはねられた。のち、権左衛門の供養のため建立したと伝えている。

また、法樹院の寺伝によれば、文治元年、この五輪塔近くに「金王寺」を創建した渋谷土佐入道昌順の墓であると伝えている。

保存上の注意

- 指定文化財に触れることを禁じる。
- 指定物件周辺の環境整備・整頓をすすめる。
- 許可なく現状を変えらるることを禁じる。

平成五年二月

上田市教育委員会



長野県宝の五輪塔/鎌倉時代初期の造立/安山岩





下から直方体の地輪〔ちりん〕、球形の水〔すい〕輪、屋根のような火〔か〕輪、半円球の風〔ふう〕輪、だんご形の空〔くう〕輪



水輪の四方に種字(梵字)が陰刻してある/火輪の軒反りは上下とも心反りとなっている



地・水・火輪は各一石で積上げている



風・空輪は一材で彫り出している



正面の種字(梵字)



右側の種字(梵字)



背面の種字(梵字)



左側の種字(梵字)



すぐ近くにはこんな双体道祖神もあった



参考ホームページ

<http://museum.umic.ueda.nagano.jp/map/document/dot28.html>

http://db.umic.ueda.nagano.jp/johogura/datadisp.php?arg_sano=667072

http://blogs.yahoo.co.jp/akira_o2ka/59740131.html

